

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	大師公園	評価対象年度	平成24年度
事業者名	事業者名 公益財団法人川崎市公園緑地協会 代表者名 理事長 碓 親二 (平成25年6月7日より篠田 隆志) 住 所 川崎市中原区等々力3番12号	評価者	管理課長
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日	所管課	川崎区役所道路公園センター 管理課

2. 事業実績

利用実績	軟式野球場、テニスコート、及び少年野球場については、平年並みの利用率・利用状況でした。瀋秀園来場者は、昨年度より3,355人増加し87,409人となりました。また芝生広場は年間を通じ、保育園や小学生等の来園者が多く、緑陰広場は各種イベント会場として使用されていました。外周通路は、近隣者のウォーキングコースとして、多くの方に利用いただいております。祝日や休日には、多くの市民の皆さんの憩いの場として利用されています。
収支実績	平成24年度は、指定管理事業収入37,400千円及び自主事業収入893千円により管理運営されました。一方、給与・賃金・福利厚生費の管理費は、予算ベースより3,217千円少ない22,395千円の執行額となっています。この管理費を事業費に流用し、事業費支出では予算ベースより+2,960千円の14,748千円執行となり、効率的な運営を図っています。その主なものは委託料7,324千円(+2,324千円)と修繕費1,690千円(+690千円)です。委託料の内訳は公園トイレ清掃委託等5,050千円、樹木剪定1,133千円、事務所警備費504千円、その他委託料574千円となっています。修繕費の主のものは、園内遊具・施設等1,284千円、作業用機械405千円です。また本部経費に当たる、事業経費は予算額と同額の1,538千円となりました。従いまして、当期収支差額は423千円となり、概ね適正に執行されています。
サービス向上の取組	多様な市民ニーズを公園管理に生かす取り組みとして新たに平成24年度に実施した事柄は、瀋秀園での撮影会の為の更衣室の設置です。撮影による利用者の利便性が図られ、喜ばれています。また、地元小学校と協働で実施した花苗の植付と除草管理等の花壇整備を実施しましたが、これは市民協働の取組として評価できるものです。 利用者アンケートについては、収集場所・方法を再検討し、アンケート数の増加と内容の充実が求められています。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	利用者のニーズ等を捉えるための具体的方策を実施しているか	12	3	7.2
		利用者ニーズ等を適切に分析しているか			
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)			
	事業成果	事業実施における自己評価を行っているか	8	3	4.8
当初の事業目的を達成することができたか					
(評価の理由) 利用者からの意見・要望・苦情等は、サンキューコール(1件)、事務所窓口(28件)、アンケート(21件)を収集し公園の運営管理に活用しています。また、公園内における事件・事故については年間15件発生していますが、その都度適正な処理を実施したため、管理上の問題も発生せず、通年の維持管理が計画どおりに実施されました。今後は利用者満足度向上のため、意見・要望の収集方法の改善や利用者ニーズの分析等の、なお一層の工夫と努力を求めます。					
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	9	3	5.4
		支出に見合う事業が行われているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	適切な金銭管理・会計手続	指定管理経費とその他業務に係る経費を区分し、適切に管理しているか	3	3	1.8
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか		3	2	1.2	
(評価の理由) 人件費の抑制に努め、管理費は予算ベースより3,217千円少ない執行額となりました。この管理費を委託料・修繕費に流用し、平成24年度に計画されていた樹木剪定委託、秀湖清掃委託、産廃ゴミ分別委託、機械修理等に加えて、愛犬マナー講習会場設置委託、遊具補修等を実施し、効率的な事業費の執行を図っています。また、自動販売機の収入を活用した自主事業としては、種苗を購入し、大師小学校・大師町内会と協働した花壇作りを実施しました。また、複合遊具補修等も同様に自主事業費から支出し実施しましたが、本来これは修繕費として処理するべきであるため、適正な会計処理を行うよう改善指導を行いました。					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	9	4	7.2
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	業務の遂行にあたって、現状分析、課題把握に取り組んでいるか	9	3	5.4
		業務改善が必要な場合に、改善策の検討と実施が行われているか			
利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	9	3	5.4	
	利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
(評価の理由) 公園利用者が安全に安心して利用できる公園作りを推進することは、公園管理の基本であり中心的な課題です。今年度は次の3つの課題において業務改善やサービスの向上を目指しました。(1)愛犬マナー講習会、(2)瀋秀園での撮影会の更衣室の設置、(3)公園利用者アンケート調査です。瀋秀園に更衣室を設置したことから、平成23年度からほぼ倍増し、約100件の撮影会の申請がありました。利用者アンケートについては、ニーズ把握、現状分析等が課題となっていますので、改善に向け指導を行ってまいります。また、窓口での利用者の苦情や陳情への対応については迅速に対応していました。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	6	3	3.6
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修・会議等が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	3	2.4
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	2	1.6
		緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	4	3	2.4
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	2	3	1.2
	環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか			
(評価の理由) 有料施設の受付業務や、施設維持管理業務に公園管理に精通した職員を配置し、適切な運営を実施していました。事故対応や災害対応については、警察や消防等、関係機関との連携を図り、的確な処理ができた一方で、危機管理マニュアルが公園事務所に常備されていないことが現地モニタリングにより判明したため、常備するよう改善指導を行いました。さらに、本部職員指導による研修会・講習会を開催し、業務知識や関連法令を習熟させ、更なる公園管理スキルの向上を期待します。また、個人情報保護、法令等遵守し、業務を遂行していました。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	6	3	3.6
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか			
	清掃業務	施設内の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	6	3	3.6
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	植栽管理	植栽等の維持管理を適切に実施しているか	6	3	3.6
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
(評価の理由) 有料施設利用実績表や維持管理実績表から業務の実施状況を精査したところ、計画どおりの業務実績でした。施設の保守管理は計画どおり実施され、安全な利用に支障をきたすことはありませんでした。また、清掃業務についても計画どおりに実施され、快適に利用できる環境を維持していました。植栽管理については計画どおりに実施されましたが、枯れ枝処理等で不十分な点が現地モニタリングで確認されましたので、改善指導を行っております。					

4. 総合評価

評価点合計	60.4	評価ランク	C
-------	------	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>公園利用者が安全に安心して利用できる公園を提供することは、公園管理業務の基本理念です。平成24年度の業務日誌や点検記録簿等で管理業務を精査したところ、計画のとおり業務が実施されていました。また、収支実績も概ね適正に執行されており、当初の事業目的を達成しています。</p>
--

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<p>以前からの課題でありました、利用者アンケートの収集数増加と内容充実、自主事業の内容の充実、収支に関しての適正な会計処理については、改善されるよう引き続き指導を行ってまいります。また、引き続きモニタリングを実施することで管理運営に対する監視を適切に行いながら、更なる維持管理意識と危機管理意識の向上を目指し、指導を行ってまいります。</p>
--